

第115期 株主通信

2015.4.1 → 2016.3.31



富士急行株式会社

証券コード：9010

富士

花めぐりの里

FUJI FLOWER VILLAGE

2016年7月23日(土) OPEN!

※イメージ

CONTENTS

ごあいさつ	1	事業別概況	8
FUJI-Q TOPICS (Year In Review)	2	連結財務諸表	10
FUJI-Q News	4	単独財務諸表	12
・富士山ビュー特急		会社概況／株式情報	14
・ハイランドリゾート ホテル&スパ リニューアル		単元未満株式の買取・買増制度のご案内	15
・富士ミネラルウォーター 新工場		株主優待のご案内	16
・富士急オートサービス山梨工場			
・あだたら山 奥岳の湯			



株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第115期におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和策などを背景に企業収益や雇用・所得環境の改善がみられるとともに、訪日外国人の増加による観光需要が好調に推移したものの、年明け以降の円高、株安による企業の景況感や、消費者マインドに弱さが見られ、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは運輸、不動産、レジャー・サービス、その他の各事業にわたり積極的な営業活動と経営の効率化に努めてまいりました。その結果、当期営業収益は517億79百万円（対前期105.7%）、当期経常利益は47億98百万円（対前期129.9%）、親会社株主に帰属する当期純利益は23億45百万円（対前期113.9%）となりました。当期における各事業の具体的な取り組みは、8ページ以降に記載しておりますので、ご高覧くださいませようお願い申し上げます。

今後につきましても、当社グループを取り巻く事業環境は、企業収益に改善がみられるものの、円高や海外経済の減速を背景に、設備投資は先送り懸念が強まり、国内需要の推進力も弱まるなど、不透明な状況が続くものと考えられます。

こうした状況の中、第四次中期経営計画「Integrated『Greater富士山』戦略」の2年目にあたる平成28年度におきましては、当社の所有する様々な観光資源、交通機関をシームレスに繋いだオリジナル商品を開発するとともに、情報発信を強化し、富士山エリアの価値向上に取り組んでまいります。また、「120%の安全」を最優先課題と位置づけ、徹底した安全管理に努めるとともに、近年、高まるテロの脅威や自然災害に対しても、行政、警察、消防などの関係機関と密接に連携し対応してまいります。

運輸事業につきましては、鉄道事業では、平成28年4月に新型特急「富士山ビュー特急」の運行を開始し、観光鉄道として更なる魅力アップを図るとともに、バス事業では、新宿駅、東京駅、渋谷駅の都心と富士五湖エリアを結ぶ交通アクセスの充実を図り、利用者の拡大を図ってまいります。バスの安全対策につきましては、更なる安全強化と作業の効率化を図るため、富士河口湖町に自動車整備工場を新設し、また、運転士の運転技術向上を目的とした安全訓練車の導入や、バス車両への安全装備の充実を図ってまいります。

不動産事業につきましては、山中湖畔別荘地・十里木高原別荘地の付加価値向上を図るとともに、社有地の有効活用による賃貸事業化にも引き続き取り組んでまいります。

レジャー・サービス事業につきましては、富士急ハイランド及びさがみ湖リゾートで絶叫アトラクションを新設し、話題性の喚起と集客力の強化を図ってまいります。また、平成28年3月に廃止した富士南麓のゴルフパーク「Bandi」跡地につきましては、花畑事業の展開及びキャンプ場事業の拡大等により、フジヤマリゾートエリアの魅力を高めてまいります。さらに、平成28年4月に取得した富士河口湖町に位置する地方職員共済組合富士保養所富士桜荘につきましては、今後抜群のロケーションを活かした「総合アウトドアリゾート」へ事業展開を進めてまいります。

女性活躍推進に向けた取り組みにつきましては、働き方の多様性に沿った人事制度の見直しや、仕事と育児との両立支援等を進め、女性が就労を継続し活躍できる雇用環境の整備を図ってまいります。

また、引き続き、コンプライアンスの徹底や、コーポレートガバナンスの強化を図り、企業価値の向上に努めてまいります。当社グループは、大正15年の創業以来、「富士を世界に拓く」の創業精神のもと、富士山麓一帯の地域開発、産業の振興に取り組んでまいりました。本年9月に創立90周年を迎え、今後もオリジナリティの高いハード、ソフトを生み出し、富士山エリアを世界に冠たるリゾートエリアとしていくとともに、地域社会への貢献、自然環境への配慮など企業の社会的責任を果たし、お客様に「夢・喜び・やすらぎ・快適・感動」を提供するアメニティビジネスのリーディングカンパニーを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年6月
代表取締役社長 堀内 光一郎

FUJI-Q TOPICS

当期のトピックス紹介

Year
In
Review



富士本栖湖リゾートで

2015 富士芝桜まつり 開催(～5月)

富士山ステーションホテル 開業



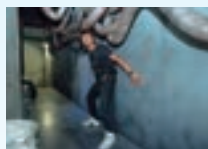
富士芝桜まつり



富士山ステーションホテル

富士急ハイランドに

絶望要塞2、絶凶・戦慄迷宮、トーマス・サーカス
オープン



遊園地ぐりんぱで

富士山の裾野天空のダリア祭り 2015
開催(～10月12日)



4月

5月

6月

7月

8月

9月

遊園地ぐりんぱで

富士山の裾野天空のチューリップ祭り
開催(～5月)



リサとガスパールタウンに

レーヴ サロン・ド・テ オープン



■ 忍野 しのびの里 オープン



■ 高速バス

東京駅(鉄鋼ビル)～富士五湖線
を運行開始



10月

11月

12月

1月

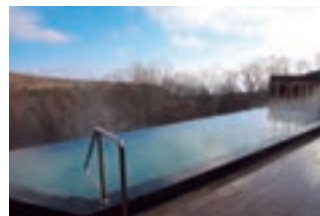
2月

3月

■ さがみ湖リゾート プレジャーフォレストに
スノーパラダイス オープン



■ あだたら高原リゾートに
あだたら山 奥岳の湯 オープン



富士山ビュー特急 Fujisan View Express



車窓から世界遺産・富士山の雄大な姿を望むことのできる新型特急「富士山ビュー特急」を4月23日より運行開始いたしました。「富士山ビュー特急」は、当社線の観光列車“富士登山電車”を手掛けた水戸岡鋭治氏がデザインを担当し、特別車両（1号車）と自由席車両（2、3号車）の3両編成で、当社線大月駅～河口湖駅間を平日2往復、土休日3往復運転します。

▶ 26席のみの特別車両（1号車）は全席指定席となっており、ゆったりとした懐かしいホテルのような空間の中で、コーヒーや紅茶などのウェルカムドリンクをお楽しみいただけます。また、土休日3往復のうちの2往復では、富士山を眺めながら“富士山ビュー特急特製スイーツ”が楽しめる「スイーツプラン」専用車両となります。

ハイランドリゾート ホテル&スパのシェフパティシエが手掛ける、山梨の味覚を取り入れた特製スイーツをご堪能ください。

自由席車両（2、3号車）においても、車内販売にてお土産品やオリジナルグッズをお買い求めいただくことができます。



ハイランドリゾート ホテル&スパ リニューアル



新しくなったホテルロゴ

富士山を眼前に臨む唯一無二のホテル「ハイランドリゾート ホテル&スパ」は、開業30周年を迎える今年、“富士山に相応しい世界水準のリゾート”へと進化します。世界遺産登録を契機に海外からの観光客が増加、一躍世界的リゾート地となった富士山エリアにあって、ハイランドリゾートは世界の名だたる高原リゾートに引けを取らない世界水準のリゾートステイを提供いたします。

▶ デザイナーには世界のリゾートホテルのインテリアデザインを数多く手がけ、トップクラスの評価を持つハーシュ・ベドナーアソシエイツ (HBA) のキャサリン・ドーバー氏を起用。ホテル空間を熟知したプロフェッショナルの色彩感覚により新たなリゾートへと大規模なリニューアルを実施いたしました。

第一弾として昨年オープンした10階・11階客室「グランド・エグゼクティブ・フロア」に引き続き、第二弾はフロント・ロビーに加え、メインバンケット及びホワイエをリニューアル、非日常感と上質なくつるぎ空間を演出いたしました。更にホテルロゴを刷新し世界水準のリゾートへと再スタートをきりました。



グランド・エグゼクティブ・フロア



フロント・ロビー



ロビーラウンジ



グランドバンケット「富士」

富士ミネラルウォーター 新工場（アクアワークス）稼働開始

下部工場（山梨県南巨摩郡身延町）の老朽化及び生産能力増強のため、新たな採水地がある山梨県富士吉田市に新工場を建設しました。



「建物概要」

- ①名称 富士ミネラルウォーター アクアワークス
- ②建築面積 約2,350㎡
- ③鉄骨造2階建て
- ④住所 山梨県富士吉田市上吉田字唐松入

「設備概要」

- ①ガラス壺製品、PETボトル製品の兼用ライン1列
- ②省エネ設備の導入及び製品倉庫と物流機能を併設
- ③生産能力（製造箱数）は100万箱/年・直の能力（下部工場の約1.7倍）
- ④会社の歴史や商品、製造ラインを見学する「FUJI AQUA Gallery」の併設

富士急オートサービス山梨工場 稼働開始

富士山駅隣接地にある山梨工場は、安全性の強化及び整備作業効率の向上、バス運行部門との連携の強化等を目的として、新たに富士急山梨バス本社営業所隣接地（富士河口湖町）に新工場を建設しました。



「建物概要」

- ①延床面積 1,673.59㎡（505.9坪）
- ②鉄骨造2階建て
- ③住所 山梨県南都留郡富士河口湖町小立

「設備概要」

- ①大型2柱リフト 3レーン
- ②大型フロアリフト 2レーン
- ③小型車用リフト 2基
- ④天井クレーン 2基



あだたら 日本百名山 安達太良山 奥岳登山口に 「あだたら山 奥岳の湯」 オープン

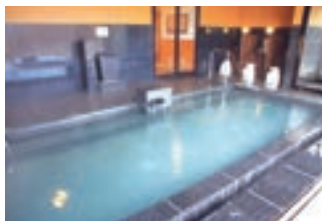


安達太良山麓（福島県二本松市）で展開する「あだたら高原リゾート」に、日帰り温泉施設「あだたら山 奥岳の湯」を平成27年12月17日に開業いたしました。



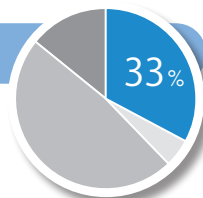
▶ 標高約950mに位置する「あだたら山 奥岳の湯」は、内湯の窓を全面開放することで“半露天”としてお楽しみ頂けるうえ、露天風呂の正面にはフェンスがなく、春の新緑や秋の紅葉が絶景の山並みと、高村光太郎が『智恵子抄』の中で詠った「ほんとの空」を全身で楽しんで頂くことができます。

また、内湯は「源泉かけ流し」で、泉質は全国的にも珍しいpH2.5の酸性泉で、筋肉痛や神経痛、疲労回復、また皮膚病への効能や美肌効果もあると言われております。





運輸事業



鉄道事業につきましては、JR東日本と連携し、成田空港駅から河口湖駅までの直通列車「成田エクスプレス」を通年運行し、首都圏からのアクセス向上を図るとともに、河口湖駅に自動外貨両替機を設置し、サービス向上に努めました。また、河口湖畔にある天上山公園カチカチ山ロープウェイでは、4月にパノラマビューの大型窓を採用した新ゴンドラを導入するとともに、増加する外国人観光客に対応するため、多言語対応等を図りました。

バス事業における乗合バス営業につきましては、外国人観光客の増加に伴い、「河口湖・西湖周遊バス」や「御殿場～河口湖線」の運行本数を増加し、利便性向上に努めました。また、10月には果樹栽培が盛んな甲州市において、勝沼地区のワイナリー等を効率よく巡ることができる「勝沼周遊バス」の運行を開始しました。

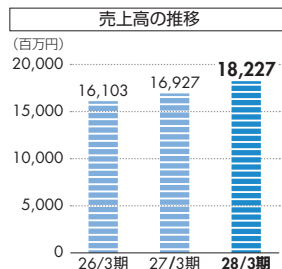
高速バス営業につきましては、8月に「町田・橋本～富士急ハイランド線」、「藤沢・辻堂・本厚木～富士急ハイランド線」の運行を開始し、また、平成28年3月には東京駅八重洲口にオープンした鉄鋼ビルディングから中央道経由「東京駅（鉄鋼ビル）～富士五湖線」の運行を開始し、富士急ハイランドをはじめとする当社グループ施設への送客に取り組むとともに、富士山・富士五湖エリアへの高速バス路線網の充実を図りました。

貸切バス営業につきましては、引き続き国土交通省が定めた安全確保及び乗務員の労働環境改善に関わるコストを反映した新運賃制度を遵守し、収益の確保に努めました。

ハイヤー・タクシー事業につきましては、富士市においてバス路線の廃止に伴うデマンドタクシーを運行し、地域交通の確保に努めました。

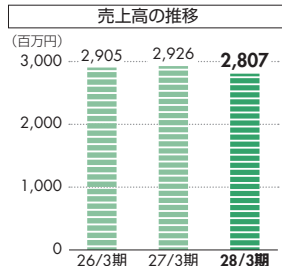
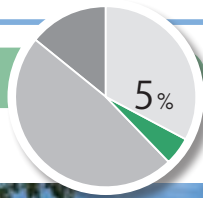
安全対策につきましては、運輸安全マネジメントに基づき、鉄道、索道、自動車、船舶の各事業で安全目標、重点施策を設定し、安全管理体制の強化、ならびに安全意識の浸透を図り、安全性の確保に努めました。鉄道事業では、重軌条化やコンクリート柱化等の安全対策及び電車修理工場の耐震化を推進しました。バス事業では、引き続き衝突被害軽減ブレーキシステム、ドライバーモニタリング警報を装備した車両の導入を進めるとともに、バス乗務員に対し、計画的に睡眠時無呼吸症候群診断や脳MRI検診を推進するなど、健康管理の強化を図りました。

以上の結果、運輸事業の営業収益は182億27百万円（対前期107.7%）となりました。



中央道経由
「東京駅（鉄鋼ビル）～富士五湖線」

不動産事業



不動産販売事業につきましては、山中湖畔別荘地で趣味・嗜好を追求できる「コンセプト・ヴィラ」シリーズの販売に加え、個々のお客様のニーズに沿ったオーダーメイド型別荘建物プランを積極的に提案するとともに、別荘地販売促進Webサイト「フジャマスタイル」を核としたソーシャルネットワークサービスによる宣伝告知を強化し、注文建売別荘の受注、商品土地販売のほか、別荘地内の仲介取引の成約獲得に努めました。また、山中湖畔別荘地・十里木高原別荘地において、快適な別荘ライフを提供するため、季節ごとに開催している各種イベントの充実を図りました。

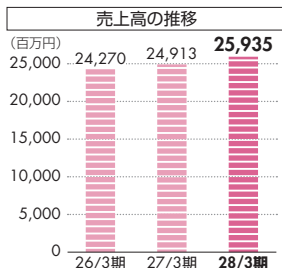
不動産賃貸事業につきましては、平成28年1月に東京都内で建設した建物を、スーパーマーケットチェーン店へ賃貸するなど、収益の向上に努めました。

以上の結果、不動産事業の営業収益は28億7百万円（対前期95.9%）となりました。



「くつろぎの森」（※イメージ）

レジャー・サービス事業



「忍野 しのびの里」

遊園地事業につきましては、7月に「富士急ハイランド」において「絶凶・戦慄迷宮」、「絶望要塞2」など人気アトラクションをリニューアルするとともに、「リサとガスパール タウン」で、8月に全席富士山ビューのスイーツカフェ「Les Rêves Salon de thé (レレーヴ サロン・ド・テ)」をオープンし、集客アップと魅力向上に努めました。

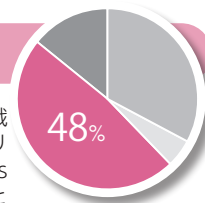
富士南麓の遊園地「Grinpa」では、花のイベント「天空のダリア祭り2015」や、雪遊びイベント「スノーカーニバル」などを開催し、シニア層や外国人観光客を中心に多くのお客様にご来場いただきました。屋外スキー場として、17年連続で日本一早く10月にオープンしたスノータウン「Yeti」では、12月に本州最長の約150mを疾走するチュービングが楽しめる「スノー・スタジアム」を新設し、集客に努めました。

「さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト」では、7月に夏期限定の水遊びエリア「じゃぶじゃぶパラダイス」をリニューアルし、12月には関東最大級の雪遊び広場「スノーパラダイス」をオープンし、多くのお客様にご利用いただきました。また、10月から英国の人気キャラクター「パディントンと英国のクリスマス」をテーマとした関東最大の550万球のイルミネーションの祭典「さがみ湖イルミリオン」を開催し、好評を博しました。

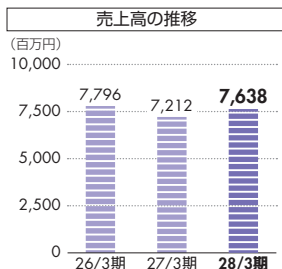
ホテル事業につきましては、開業30周年を迎えた「ハイランドリゾート ホテル&スパ」で、「富士山に相応しい世界水準のリゾート」へと進化するため、昨年3月にリニューアルした10階・11階客室「グランド・エグゼクティブ・フロア」に引き続き、本年3月にフロント・ロビー及びメインバンケットをリニューアルしました。また、4月に富士山駅前に開業した「富士山ステーションホテル」は、国内外の観光客のご利用により高稼働で推移しました。

その他のレジャー・サービス事業につきましては、富士本栖湖リゾートで、「2015 富士桜まつり」を開催し、外国人観光客の増加等により、過去最高のお客様にご来場いただきました。10月には、山梨県忍野村（おしのむら）に忍者をテーマとした「忍野 しのびの里」を開業し、国内外の多くのお客様に好評を博しました。福島県二本松市の「あだたら高原スキー場」では、12月にスキー場隣接地に日帰り温泉施設「あだたら山 奥岳の湯」をオープンし、施設の拡充を図りました。

以上の結果、ゴルフ場事業を含めたレジャー・サービス事業の営業収益は259億35百万円（対前期104.1%）となりました。

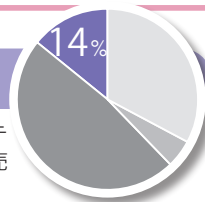


その他事業



富士急建設株式会社では、公共工事の受注が伸び、株式会社レゾナント・システムズでは、乗合バスの運行をサポートする運行ナビや安全機器などの交通機器販売が好調に推移しました。また、富士ミネラルウォーター株式会社では、一般ペットボトル製品は好調でしたが、非常用保存水が伸び悩みました。

以上の結果、その他事業の営業収益は76億38百万円（対前期105.9%）となりました。



富士ミネラルウォーター



連結貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	当連結会計年度 (平成28年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成27年3月31日現在)	科 目	期 別	当連結会計年度 (平成28年3月31日現在)	前連結会計年度 (平成27年3月31日現在)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産		22,877	23,803	流動負債		27,321	25,127
現金及び預金		9,392	9,791	支払手形及び買掛金		2,398	2,584
受取手形及び売掛金		2,669	2,707	短期借入金		17,325	15,469
たな卸資産		9,405	9,514	賞与引当金		472	441
その他		1,410	1,789	その他		7,123	6,631
固定資産		71,981	72,095	固定負債		44,908	48,344
有形固定資産		59,871	57,882	長期借入金		34,891	37,298
建物及び構築物		29,175	27,975	退職給付に係る負債		902	930
機械装置及び運搬具		5,846	6,334	その他		9,114	10,115
土地		15,534	16,218	負債合計		72,229	73,471
建設仮勘定		2,574	827	(純資産の部)			
その他		6,741	6,527	株主資本		20,881	19,148
無形固定資産		2,622	3,417	資本金		9,126	9,126
投資その他の資産		9,487	10,796	資本剰余金		3,429	3,426
投資有価証券		7,967	6,256	利益剰余金		9,819	8,109
退職給付に係る資産		177	3,201	自己株式		△1,493	△1,513
その他		1,342	1,338	その他の包括利益累計額		1,007	2,569
資産合計		94,859	95,899	その他有価証券評価差額金		820	1,064
				退職給付に係る調整累計額		186	1,504
				非支配株主持分		740	710
				純資産合計		22,629	22,428
				負債純資産合計		94,859	95,899

連結損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	
	当連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
営業収益	51,779	48,971
営業費	46,354	44,623
営業利益	5,425	4,348
営業外収益	263	275
営業外費用	890	928
経常利益	4,798	3,694
特別利益	1,115	977
特別損失	2,299	1,430
税金等調整前当期純利益	3,614	3,242
法人税、住民税及び事業税	1,633	1,009
法人税等調整額	△429	118
当期純利益	2,410	2,114
非支配株主に帰属する当期純利益	65	55
親会社株主に帰属する当期純利益	2,345	2,058

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	
	当連結会計年度 (平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	前連結会計年度 (平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,577	8,261
税金等調整前当期純利益	3,614	3,242
減価償却費	5,498	5,322
その他損益等調整額	1,569	842
資産・負債の増減額	△550	416
小計	10,132	9,824
利息の支払額等	△1,554	△1,563
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,965	△6,039
有形及び無形固定資産の取得による支出	△7,490	△6,705
その他	524	666
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,990	△1,941
借入金の増減額	△551	△1,067
その他	△1,438	△873
現金及び現金同等物の増減額	△378	281
現金及び現金同等物の期首残高	9,700	9,418
現金及び現金同等物の期末残高	9,321	9,700

連結株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

単位：百万円

	株主資本					その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	9,126	3,426	8,109	△1,513	19,148	1,064	1,504	2,569	710	22,428
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当			△635		△635					△635
親会社株主に帰属する当期純利益			2,345		2,345					2,345
自己株式の取得				△7	△7					△7
連結子会社保有自己株式の 当社帰属分の減少				28	28					28
連結子会社株式の取得による 持分の増減		3			3					3
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)						△243	△1,317	△1,561	29	△1,531
連結会計年度中の変動額合計	—	3	1,709	20	1,733	△243	△1,317	△1,561	29	201
当期末残高	9,126	3,429	9,819	△1,493	20,881	820	186	1,007	740	22,629

単独財務諸表



貸借対照表 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別		科 目	期 別	
	第115期 (平成28年3月31日現在)	第114期 (平成27年3月31日現在)		第115期 (平成28年3月31日現在)	第114期 (平成27年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	20,180	21,120	流動負債	24,675	21,717
現金及び預金	8,228	8,865	短期借入金	15,746	13,859
未収運賃	520	536	未払金	3,066	2,983
未収金	1,145	1,582	賞与引当金	65	70
たな卸資産	8,376	8,365	その他の流動負債	5,797	4,804
その他の流動資産	1,908	1,770	固定負債	40,044	43,004
固定資産	61,436	60,517	長期借入金	33,851	36,197
鉄道事業固定資産	4,147	4,087	預り保証金	3,667	3,676
自動車事業固定資産	3,647	4,322	その他の固定負債	2,526	3,129
観光事業固定資産	29,765	30,440	負債合計	64,720	64,721
土地建物事業固定資産	8,959	8,563	(純資産の部)		
各事業関連固定資産	1,871	1,885	株主資本	16,170	15,947
その他の固定資産	284	260	資本金	9,126	9,126
建設仮勘定	1,606	540	資本剰余金	3,400	3,400
投資その他の資産	11,153	10,414	利益剰余金	4,872	4,640
投資有価証券	8,402	6,725	自己株式	△1,227	△1,219
長期貸付金	2,167	2,256	評価・換算差額等	725	968
その他の投資等	597	1,447	その他有価証券評価差額金	725	968
貸倒引当金	△14	△14	純資産合計	16,896	16,915
資産合計	81,616	81,637	負債純資産合計	81,616	81,637

損益計算書 (要旨)

単位：百万円

科 目	期 別	第115期	第114期	科 目	期 別	第115期	第114期
		(平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	(平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)			(平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで)	(平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで)
鉄道事業				営業外収益		177	215
営業収益		1,787	1,591	営業外費用		832	874
営業費		1,594	1,441	経常利益		2,773	2,450
営業利益		193	149	特別利益		833	762
自動車事業				特別損失		2,152	1,264
営業収益		2,046	1,835	税引前当期純利益		1,454	1,948
営業費		1,517	1,324	法人税、住民税及び事業税		944	620
営業利益		529	511	法人税等調整額		△362	121
観光事業				当期純利益		872	1,207
営業収益		21,749	20,817				
営業費		19,467	18,830				
営業利益		2,282	1,987				
土地建物事業							
営業収益		1,865	1,967				
営業費		1,441	1,506				
営業利益		423	461				
全事業営業利益		3,428	3,109				

株主資本等変動計算書 (平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

単位：百万円

	株主資本								自己株式	株主資本 合計	評価・換算 差額等 その他 有価証券 評価差額金	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			利益剰余金 合計				
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計	利益 準備金	その他利益剰余金 別途積立金	繰越利益剰余金					
当期首残高	9,126	2,398	1,001	3,400	1,959	219	2,461	4,640	△1,219	15,947	968	16,915
当期変動額												
剰余金の配当							△640	△640		△640		△640
当期純利益							872	872		872		872
自己株式の取得									△7	△7		△7
株主資本以外の項目の 当期の変動額 (純額)											△242	△242
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	231	231	△7	223	△242	△19
当期末残高	9,126	2,398	1,001	3,400	1,959	219	2,692	4,872	△1,227	16,170	725	16,896

会社概況／株式情報



会社概要 (平成28年3月31日現在)

- 商号 富士急行株式会社
FUJI KYUKO CO.,LTD.
- 所在地 本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号
- 設立 大正15（1926）年9月18日
- 資本金 91億2,634万円
- 代表者 代表取締役社長 堀内 光一郎
- 主要事業 鉄道事業、自動車運送事業、土地建物の売買・貸借・媒介その他各種不動産事業、旅館業・遊園地その他各種観光事業等

役員 (平成28年6月1日現在)

代表取締役社長	堀内 光一郎	取締役	高部 久夫
取締役社長	堀内 哲夫	取締役	鈴木 木薫
専務取締役	福重 隆一	常勤監査役	小林 正幸
取締役	宇野 郁夫	監査役	堀田 和敏
取締役	山崎 智史	監査役	岡本 久也
取締役	尾崎 信次	監査役	芦澤 賢治
取締役	久代 美樹	執行役員	小森 哲訓
取締役	佐藤 成一	執行役員	田中 裕美
取締役	和田 一	執行役員	山田 美之
取締役	勝 俣 收	執行役員	

株式の状況 (平成28年3月31日現在)

■ 発行可能株式総数	331,695,000 株
■ 発行済株式の総数	109,769,477 株
■ 株主数	4,797 名

大株主 (平成28年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
公益財団法人堀内浩庵会	12,912	12.10
株式会社エフ・ジェイ	12,708	11.90
日本生命保険相互会社	10,633	9.96
富国生命保険相互会社	9,724	9.11
朝日生命保険相互会社	6,120	5.73
株式会社東京ドーム	3,052	2.86
富士急行株式会社	3,019	2.83
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託スルガ銀行口 再信託受託者資産管理サービス 信託銀行株式会社	2,555	2.39
日野自動車株式会社	2,506	2.35
株式会社山梨中央銀行	2,473	2.32

(注1) 持株比率は自己株式を控除して算出しております。
 (注2) 富国生命保険相互会社は、上記以外に当社の株式900千株を退職給付信託として信託設定しており、その議決権行使の指図権は富国生命保険相互会社が留保しております。なお、株主名簿上の名義は「日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（三井住友信託銀行再信託分・富国生命保険相互会社退職給付信託口）」であります。
 (注3) みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 スルガ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社の持株数2,555千株は、スルガ銀行株式会社が、みずほ信託銀行株式会社に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権はスルガ銀行株式会社が留保しております。

連結子会社の状況 (平成28年3月31日現在)

- 【運輸部門】
 - 岳南電車(株)
 - 富士急行観光(株)
 - 富士急山梨バス(株)
 - 富士急シティバス(株)
 - 富士急静岡バス(株)
 - (株)フジエクスプレス
 - 富士急湘南バス(株)
 - 富士急オートサービス(株)
- (株)静岡ホールディング
- 富士急伊豆タクシー(株)
- 富士急山梨ハイヤー(株)
- (株)富士急マリンリゾート
- 【レジャー・サービス部門】
 - (株)富士急ハイランド
 - (株)フジヤマリゾート
 - 相模湖リゾート(株)

- (株)ホテル富士急
- ハイランドリゾート(株)
- 表富士観光(株)
- 富士急安達太良観光(株)
- 富士観光興業(株)
- 富士急トラベル(株)
- (株)フジヤマ・クオリティ
- 【不動産部門】
 - (株)富士急リゾートアメニティ
- 【その他部門】
 - (株)富士急百貨店
 - 富士急建設(株)
 - (株)レゾナント・システムズ
 - 富士ミネラルウォーター(株)
 - (株)富士急ビジネスサポート

単元未満株式の買取・買増制度のご案内

【単元未満株式の買取請求・買増請求について】

当社の単元株式数は1,000株ですので、1,000株未満の単元未満株式は市場で売買することができません。お持ちの単元未満株式を当社が買い取るか（買取請求）、もしくは1単元である1,000株とするために、当社から単元未満株式を買い増す（買増請求）ことができます。

【単元未満株式の買取・買増制度の概要】

買取制度

ご所有の単元未満株式を当社に買取よう請求できる制度です。

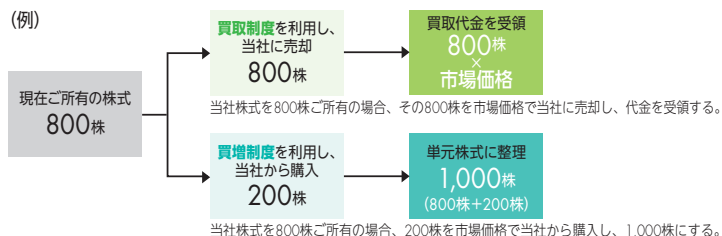
買増制度

ご所有の単元未満株式を1単元（1,000株）の株式にするために必要な数の株式を買増すことを当社に請求できる制度です。

【お手続きについて】

- 証券会社に口座を開設されている株主様
口座のある証券会社にお問い合わせください。
ただし、株券電子化以前に株券が発行されていない単元未満株式（証券会社の口座に記録されているものを除きます）をお持ちであった場合には、株券電子化実施日時点で、単元未満株式は「特別口座」に記録されておりますので、下記の株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。
- 証券会社に口座を開設されていない株主様
単元未満株式は「特別口座」に記録されておりますので、下記の株主メモ記載の三菱UFJ信託銀行電話照会先にお問い合わせください。

(例)



当社は1,000株以上ご所有の株主様に株主優待券を発行しております。株主優待については、次ページをご覧ください。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel.0120-232-7111（通話料無料）
上場金融商品取引所	東京証券取引所
公告方法	東京都において発行する日本経済新聞に掲載

ご注意

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いさせていただきます。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のご案内



電車・バス・観光施設 共通優待券



- 電車全線乗車 (1枚につき片道1名乗車)
- バス全線乗車 (1枚につき片道1名乗車)
- 富士急ハイランド (1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換)
- ぐりんぱ (1枚につき1名入園、5枚につきワンデークーポン1枚と引換)
- さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト (1枚につき1名入園、5枚につきフリーパス1枚と引換)
- スノータウンYeti (5枚につき1日入場滑走券1枚と引換)
- あだたら高原スキー場 (5枚につきリフト1日券またはロープウェイ往復券1枚と引換)
- 初島アイランドリゾート (1枚につき1名入園)
- 天上山公園カチカチ山ロープウェイ (1枚につき1名乗車(往復))
- 河口湖遊覧船・山中湖遊覧船・本栖湖遊覧船 (1枚につき1名乗船)
- 初島航路 (2枚につき1名乗船(往復))
- フジヤマミュージアム (1枚につき1名入館)
- ふじやま温泉 (2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館)
- さがみ湖温泉 うるり (2枚につき大人1名入館、1枚につき小人1名入館)
- あだたら山 奥岳の湯 (1枚につき1名入館)

フリーパス引換券



- 遊園地フリーパス (富士急ハイランド・ぐりんぱ・さがみ湖リゾート プレジャーフォレスト)
- スキー場一日券 (スノータウンYeti・あだたら高原スキー場)

高速バス乗車券



高速バス乗車券

※高速バスご利用について
高速バス乗車券は、「富士五湖～新宿線」「富士山五合目～新宿線」「甲府～新宿線」、「富士五湖～東京線」「富士宮～東京線」「富士～東京線」「沼津～東京線」「沼津～新宿・渋谷線」「三島～新宿・渋谷線」「河口湖～渋谷線」の富士急便に限りご利用いただけます。

電車・バス全線 優待バス



電車・バス全線優待バス
(表示された持参人1名)

ご優待の内容

枚数

35,000株以上

40枚

6枚

4枚

1枚

20,000株以上

40枚

5枚

4枚

10,000株以上

25枚

4枚

2枚

5,000株以上

15枚

3枚

1枚

3,000株以上

10枚

2枚

1,000株以上

7枚

1枚

長期保有特別優待券*



「ハイランドリゾート ホテル&スパ」
「ホテルマウント富士」の指定するツイン
ルーム室料100%またはホテル内レスト
ラン利用料30%割引券
(3年に1度の発行となります。)

3枚

2枚

2枚

施設割引券

ご優待の内容		枚数
ハイランドリゾート ホテル&スパ	1枚につき1室室料20% または自社企画宿泊商品 10%割引	2枚
ホテルマウント富士		
ホテルマウント富士 プール割引券	20%割引 (1枚につき4 名まで)	5枚
富士山ステーション ホテル	1枚につき1室室料1,000 円割引	
富士宮富士急ホテル	1枚につき1室室料20% または自社企画宿泊商品 10%割引	1枚
富士急グループホテル 飲食割引券	レストラン・バー10%割 引 (1枚につき4名ま で)、「ホテルマウント富 士」では、食事付入浴10 %割引 (1枚につき4名 まで) として利用可。	
富士ゴルフコース	所定 プレー料金 から 2,000円割引 (1枚につ き4名まで)	1枚
大富士ゴルフ場	所定 プレー料金 から 2,000円割引 (1枚につ き4名まで)	
ふじやま温泉	入館料 平日大人780円 小人420円 土日祝日 大人1,030円 小人520円 (1枚につき4 名まで)	2枚
さがみ湖温泉 うるり	入館料 平日大人800円 小人350円 土日祝日 大人850円 小人350円 (1枚につき4 名まで)	
あだたら山 奥岳の湯	入館料 平日、土休日と も大人500円 小人300 円 (1枚につき4名まで)	1枚
忍野 のびの里	食事処「雪月風花」5%割 引	
PICA山中湖ヴィレッジ	コテージ1棟 (素泊り) 10%割引、レストラン [FUJIYAMA KITCHEN] 5%割引	1枚
PICA富士吉田・PICA富 士西湖・キャンピカ富士 ぐりんぱ・パディントン ペアキャングラウンド	1枚につき1泊1室10%割 引	
富士ミネラルウォーター	1枚につき20%割引 (1 ケース以上)	2枚
富士急トラベル	パッケージ旅行代金の5% 割引 (1枚につき4名まで)	
富士急ハイランドQ-BOWL (ボウリング場)	1ゲーム平日、土日祝日 とも410円 (1枚につき4 名まで)	1枚
富士急オートサービス	車検・点検・整備 工賃 10%割引	

● 株主優待券の発行時期及び有効期間

当社の株主優待は毎年3月31日及び9月30日現在で
1,000株以上ご所有の、株主様のご所有株式数に応じて
それぞれ5月下旬、11月下旬に発行いたします。

	発行時期	有効期間
3月31日現在の株主様	5月末	11月30日まで
9月30日現在の株主様	11月末	翌年5月31日まで

注) 長期保有特別優待券の有効期間に限り、「1年間」といたします。

● 長期保有特別優待券について*

■ 長期保有特別優待券は過去3年間すべての基準日 (3月
31日、9月30日) の株主名簿において、対象となる株式
数以上を継続して保有し、かつ株主番号または氏名・住
所が継続して同一である株主様へ3年経過ごとに発行し
ております。**(3年に1度の発行となります。)**

相続による名義人の変更があった場合、また、継続保
有されている株主様であっても基準日現在において、何
らかの理由で同一の株主名簿上に対象株式数を保有し
ていない場合は対象となりませんのでご注意ください。

■ 長期保有特別優待券は年末年始、ゴールデンウィーク、
夏期ハイシーズン等ホテルが定めた日のご宿泊にはご
利用いただけません。またレストラン利用料の割引額
の上限は3万円といたします。

その他、ご利用方法については優待券の裏面をご覧ください。



本社：山梨県富士吉田市新西原五丁目2番1号
東京本社：東京都渋谷区初台一丁目55番7号

<http://www.fujikyu.co.jp/>



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC® 認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。